

# 第20回膵癌早期診断研究会 プログラム・抄録集

【開催日時】 2025年2月1日(土) 13:30～16:00

【開催形式】 WEB開催

【参加方法】 <https://ea-seminar.jp/suigan20/>  
上記URLまたは二次元コードよりお申込みください。



【参加費】 1,000円

## 【プログラム】

13:20～13:30 **製品紹介** ガデリウス・メディカル株式会社

---

13:30～13:35 **開会のご挨拶**  
JA尾道総合病院 消化器内科 花田 敬士先生

---

13:35～14:05 **ミニレクチャー**  
司会: JA尾道総合病院 消化器内科 花田 敬士先生  
「膵がん診断を補助する血液腫瘍マーカーの  
探索から臨床実装まで」  
演者: 日本医科大学大学院医学研究科 大学院教授 本田 一文先生

---

14:05～15:55 **症例提示**  
司会: 鹿児島大学 消化器外科 大塚 隆生先生  
福岡大学筑紫病院 消化器内科 丸尾 達先生

### [症例提示①]

演者: 東京女子医科大学 消化器内科 島松 裕先生  
病理: 京都第二赤十字病院 病理診断科 安川 覚先生

### [症例提示②]

演者: 都立駒込病院 消化器内科 田畑 宏樹先生  
病理: 福岡大学病院 病理部・病理診断科 濱田 義浩先生

---

15:55～16:00 **閉会のご挨拶**  
京都第一赤十字病院 病理診断科 特別顧問  
京都府立医科大学 名誉教授 人体病理学 特任教授 柳澤 昭夫先生

---

【共催】 膵癌早期診断研究会/EAファーマ株式会社/ガデリウス・メディカル株式会社

## 【症例提示①】

東京女子医科大学

1)消化器内科、2)同消化器・一般外科、3)東北大学大学院医学系研究科病態病理学分野

○島松裕<sup>1)</sup>、高山敬子<sup>1)</sup>、白田龍之介<sup>1)</sup>、大塚奈央<sup>1)</sup>、菊山正隆<sup>1)</sup>、中井陽介<sup>1)</sup>、川本裕介<sup>2)</sup>、山中良輔<sup>2)</sup>、遠藤樹希<sup>2)</sup>、棚橋亨<sup>2)</sup>、橋田和樹<sup>2)</sup>、松永雄太郎<sup>2)</sup>、大目祐介<sup>2)</sup>、有泉俊一<sup>2)</sup>、本田五郎<sup>2)</sup>、齊藤里美<sup>3)</sup>、古川徹<sup>3)</sup>

症例は 76 歳男性。20xx-8 年の健診の腹部エコー検査で多発する膵嚢胞を指摘され、当科を受診した。CT で膵鉤部、膵体部および膵尾部に嚢胞性病変を認め、当初は IPMN を疑い、半年毎の経過観察を行っていた。もともと膵頸部から体部にかけて限局性膵萎縮 (FPPA) を認めていたが、経過中に緩やかに増悪傾向であったことから、20xx 年に EUS を施行したところ、膵体部に低エコー域の出現、同部位に一致して主膵管の狭小化を疑う所見を認めた。造影 CT では、明らかな腫瘍は認めなかったものの、膵頸部に強い FPPA を認めた。MRI/MRCP では、膵鉤部の嚢胞性病変のほか、膵頸部から体部の萎縮に一致して微小な嚢胞性病変を複数認めた。ERP を施行したところ、膵体部に主膵管の狭小化を認めたことから同部位の擦過細胞診とともに SPACE を行い、高度の異型を伴う細胞が検出された。浸潤癌を否定するため膵体部の低エコー域の EUS-FNA を行ったが、随伴性膵炎の病理診断であったことから、High-grade PanIN を疑い、手術の方針とした。

## 【症例提示②】

がん・感染症センター都立駒込病院

1)消化器内科、2)肝胆膵外科、3)放射線科診断部、4)病理科

○田畑宏樹<sup>1)</sup>、仲程純<sup>1)</sup>、柿崎文郎<sup>1)</sup>、氏田亙<sup>1)</sup>、千葉和朗<sup>1)</sup>、神澤輝実<sup>1)</sup>、白田力<sup>2)</sup>、原田庸寛<sup>2)</sup>、沖永裕子<sup>2)</sup>、倉田昌直<sup>2)</sup>、脊山泰治<sup>2)</sup>、鈴木瑞佳<sup>3)</sup>、堀口慎一郎<sup>4)</sup>

症例は、80 歳代女性、既往症としてバセドウ病、MASH、脂質異常症があり、第一親等以内に膵癌家族歴はない。MASH でフォロー中に血清 CA19-9 上昇(47.2 U/mL)と MRCP で膵嚢胞を指摘され、精査加療目的に当科紹介となった。APOA2-index 107  $\mu$ g/ml(基準値 59.5 以上)で陰性、MRCP で膵体部の主膵管近傍に 12mm 大の多房性嚢胞あり、上流の主膵管が 13mm 長に渡り狭窄し、さらに上流の膵管がわずかに拡張していた。T2-HASTE 像では同部の狭窄に概ね一致して限局性の軽度の萎縮を認め、9 年前の画像と比較しても萎縮が目立つ印象があった。拡散強調画像を含め腫瘍性病変は認めない。腹部 Dynamic CT でも同様に萎縮がみられ、腫瘍性病変は認めなかった。EUS で膵管狭窄部に連続して 7mm 程度の淡い低エコー領域が認められ、ソナゾイド造影で周囲膵実質と同程度に造影効果を認めた。膵上皮内癌疑いで SPACE の方針とし膵管造影を行うと、膵体部に短い狭窄あり上流膵管は拡張していた。膵液細胞診は7回中 3 回で Suspicious, High grade PanIN/CIS suspected の診断であった。膵体部上皮内癌 cTisN0M0 cStage0 の術前診断で、外科にてロボット支援腹腔鏡下膵体尾部切除術が施行された。術後標本 EUS では狭窄部の近傍に淡い低エコー領域があるように見え、術後標本造影では膵体部の膵管狭窄と上流膵管の軽度拡張を認めた。狭窄部にマーキングし同部を詳細に評価するよう切り出し、標本作成を行った。病理組織学的には狭窄部に一致して High-grade PanIN を認めた。本症例は、膵上皮内癌の早期診断の重要な知見を示す一例として報告する。

# 第20回膵癌早期診断研究会 ご視聴までの流れ

※詳細は <https://ea-seminar.jp/suigan20/> をご確認ください。

## ① 参加登録・参加費決済

下の URL または二次元コードからアクセスして参加登録と参加費のクレジットカード決済を行ってください。

<https://ea-seminar.jp/suigan20/>



## ② ZOOM 視聴登録

『登録完了(決済完了)のご案内』メールに記載された URL から ZOOM にアクセスし、ZOOM の視聴登録を行ってください。

メール例

●● 様

第 20 回膵癌早期診断研究会のご参加について  
クレジットカードによるお支払いが完了いたしました。

▽第 20 回膵癌早期診断研究会▽

視聴にあたって、以下の URL から ZOOM ウェビナーに事前登録してください。

▼URL:

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/\\* \\* \\* \\* \\* \\*](https://us06web.zoom.us/webinar/register/* * * * * *)

## ③ 研究会参加

ZOOM の視聴登録完了後、参加リンクが記載されたメールが送信されます。当日はメールのリンクをクリックしてご参加ください。

メール例

Zoom に参加する方法

1. PC、Mac、iPad、または Android から参加する

[ウェビナーに参加](#)

上記のボタンが機能しない場合は、このリンクをブラウザに貼り付けてください。

※ZOOM の URL は参加費決済完了後にお送りするメールに記載しております。

※環境によっては ZOOM ウェビナーにご参加いただけない場合がございます。

※お使いの OS やブラウザによって見え方が異なる場合がございます。

※Zoom アプリは最新版にアップデートのうえご利用ください。

■参加登録に関するお問い合わせ窓口(電話対応:2月1日(土)16時00分まで)

(株)サンプラネット/メディア・プロモーション・サービス(株)

TEL:03-5816-1055 E-mail:ea-seminar@media-ps.jp

■ZOOM 視聴に関するお問合せ先 [webinar@sunpla-mcv.com](mailto:webinar@sunpla-mcv.com) ※研究会名を記載のうえご連絡ください。

▶本講演会は、医療関係者の皆さまに限り、ご参加いただくことが可能です。

▶本講演会の内容(話される内容や投影される文字、写真、図、イラストなど)の無断での複製、転載、改変その他の二次利用はお控えください。